

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 104-8538
 住 所 東京都中央区晴海2-5-24 晴海センタービル
 氏 名 株式会社サークルKサンクス 印
 代表取締役社長 中村 元彦
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社サークルKサンクス		
主たる事務所又は 事業所の所在地	神奈川県川崎市多摩区登戸2010-2		
該当する事業者 の要	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	コンビニエンスストア		
事業者の規模	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		1997 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	内部統制・環境統括室
		所在地	東京都中央区晴海2-5-24晴海センタービル
	電話番号		03-6220-9003
	FAX番号		03-6220-9051
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成22年度 ~ 平成24年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	照明、冷凍・冷蔵設備、空調、トイレといった店舗設備に省エネルギー機器を導入する。 詳細は、指針様式第1号(第4、5面)のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	なし。
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	廃棄物の減量化・分別化・リサイクル化の推進を行う。 詳細は、指針様式第1号(第6面)のとおり
備 考	環境の取組みについては、ホームページにて公表しています。 http://www.circleksunkus.jp/_image_/other/image/company/activity/pdf/2010/kankyo2010_all.pdf

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

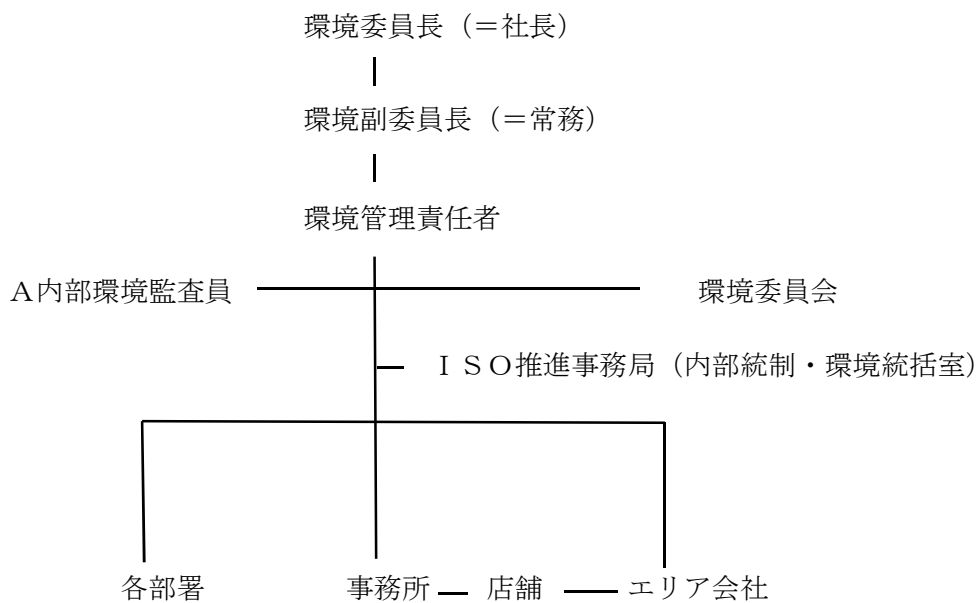
1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

事務所全体基本方針

1. 環境に対する取組みの基本的な考え方を環境理念・環境方針として制定しています。
2. 取得済みの ISO 14001 推進体制の中で、温室効果ガス排出量の削減に取り組めます。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制

組織図



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成21年度	目標年度	平成24年度
基準排出量	(実) 3,246 t- (調) 2,578 CO ₂	目標排出量	(実) 3,150 t- (調) 2,501 CO ₂
削減率	(実) 3.0 % (調) 3.0	削減量	(実) 96 t- (調) 77 CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	単 位
基準年度の値	目標年度の値
削減率	%
延床面積、生産数量 以外の原単位を使用 した場合の理由	

ウ 目標設定に関する考え方

改正省エネ法、地球温暖化対策基本法の制定に向けて当社の社会的責任をはたす為、1店舗当りのCO ₂ 排出量の目標を設定することにしました。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

1店舗当りのCO ₂ 排出量を2014年度までに2007年度比8%削減と設定しました。
--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る 温室効果ガスの 排出の量の削減 を達成するた めの具体的措 置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、 第 4 号該当者等)</p>	<p>1. 取得済みの ISO 14001 推進体制で温室効果ガスの削減を図る。 2. 店内照明の照度の自動調整による電気使用量の削減。 3. 照明、冷凍・冷蔵設備、空調、トイレといった店舗設備に省エネルギー機器を導入する。</p>
<p>自動車に係る温 室効果ガスの排 出の量の削減を 達成するための 具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者 等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

ソーラーパネルを利用した店舗は実験的に導入していますが、川崎市内においての計画は今のところありません。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

なし

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

廃棄物の減量化・分別化・リサイクル化の推進を行う。

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,246	t-CO ₂
(調)	2,578	

イ 第 3 号該当者等

		t-CO ₂
--	--	-------------------

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k _l 未満	
300～400k _l 未満	
200～300k _l 未満	
100～200k _l 未満	
100k _l 未満	55

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--